

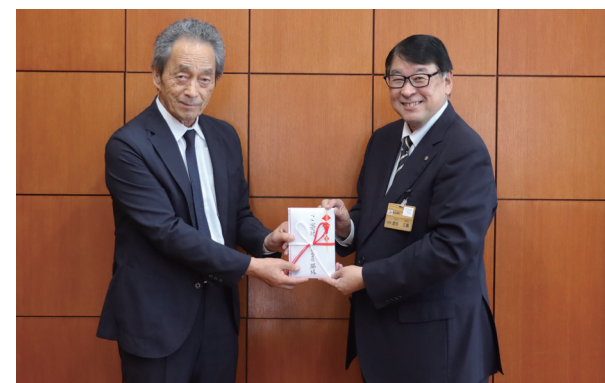
全 少年少女球技大会(ソフトボール競技) カプレーで熱い夏、いざ勝負！

8月22日、びわのかげ運動公園ソフトボール場で「令和8年度田島地域少年少女球技大会(ソフトボール競技)」が開催され、田島地域各地区から4チームが参加しました。各チームとも6年生を中心に一丸となって試合に臨み、どの試合も白熱した展開となりました。子どもたちの真剣なプレーが夏の球場に熱気をもたらしていました。

【優勝】荒海 【準優勝】本町・折橋・中町・後原



優勝した荒海チームの皆さん



左から、寄附に訪れた(株)興林 星代表取締役社長、
渡部町長

地 株式会社興林から町へ100万円の寄附 域とともに歩む企業の想い

8月27日、今年6月に本社を東京都から本町へ移転した株式会社興林から、町に対し100万円のご寄附をいただきました。当日は星健一社長が町長室を訪れ、渡部町長に寄附金を手渡されました。

いただいたご寄附は、第3次南会津町総合振興計画の将来像の実現に向けて、有効に活用させていただきます。

安 だいくらスキー場官民連携チームの取組 定した運営を目指して

9月1日、今年3回目の「だいくらスキー場官民連携会議」が開催されました。この会議では、町民とスキー場との繋がりの強化を目指した取組や白河市方面を重点的な誘客エリアとしたスキー場の新規顧客の獲得などに向けての話し合いが活発に行われました。

今年も昨年度に好評だった「DIYワークショップ」や「町民無料Day」を計画しています。



だいくらスキー場官民連携会議の様子

だいくらスキー場官民連携チームとは

だいくらスキー場官民連携チームは、だいくらスキー場が将来に渡り安定した運営で町民にとって必要なスキー場であり続けられるよう、町民と指定管理者及び町が一体となってその方策を考え、実行していくために令和7年7月28日に発足しました。



昨年度好評だった「町民無料Day」の様子

夜 たかつえそば畑、白い花が満開に 空に浮かぶ、白い絨毯

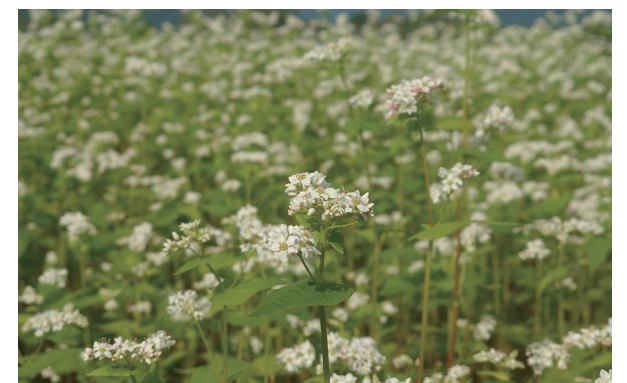
8月下旬から9月上旬にかけて、高杖原地区の「たかつえそば畑」でそばの花が満開となりました。8月21日から30日にはライトアップも行われ、昼間は一面に広がる白い絨毯、夜は光に照らされた幻想的な景色が広がりました。訪れた人々は、この季節だけの美しい景色に魅了されていました。白い花が実りへと変わる頃、たかつえの大地で育った新そばが南会津の秋の味覚として食卓を彩ります。



そば畑が白い絨毯に



ライトアップされたそば畑



花から実になるのはもうすぐ

被 町内4団体が義援金を寄付 災地の日も早い復興を願って

令和8年熊本地震災害の支援のため、永田区(8月7日)、あたごカラオケ会(9月1日)、田島赤十字奉仕団と南会津町職員互助会(9月3日)の4団体から義援金が寄せられました。

いただいた義援金は、日本赤十字社福島県支部を通じて被災地の方々の生活支援に活用されます。



左から、あたごカラオケ会の星悦男会長、
渡部町長、星アツ子さん



左から、南会津町職員互助会の
阿久津勝英副理事長、渡部町長



左から、田島赤十字奉仕団の渡部純子副委員長、
柏木なつ子委員長、渡部町長、渡部和代副委員長

勝 第20回市町村対抗福島県軟式野球大会 利を目指して全力疾走！ベスト16で惜敗

9月5日から開催された第20回市町村対抗福島県軟式野球大会において、2回戦で石川町に6対0で勝利しましたが、次戦で棚倉町に1対3で惜敗し、ベスト16という結果となりました。監督・選手たちは「多くの声援ありがとうございました。この悔しさを忘れず、来年はさらに良い結果を残せるよう頑張ります」と来年への意気込みを語ってくれました。



石川町戦 5回無失点の星 碧 選手



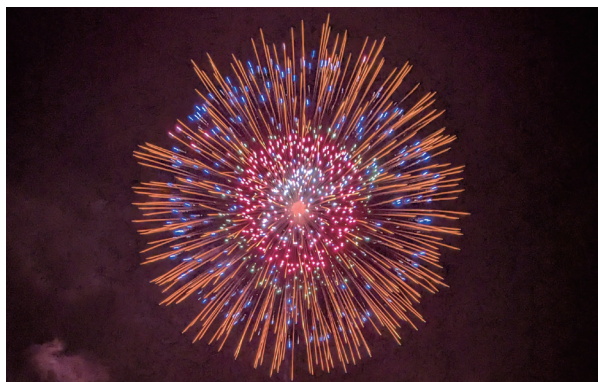
棚倉町戦 タイムリーを放った星航汰選手



ソフトボール代表との合同結団式



豊作祈願餅まきの様子



南郷トマトを思わせるトマト花火

人 第32回南郷豊年まつり開催 をつなぐ賑わいの輪

9月5日に南郷豊年まつりが開催されました。天候が心配されましたが、晴天のもと全日程大盛況の中終了し、各所では久しぶりの再会に喜び姿も見られました。また、今年度は新たに地酒で乾杯プロジェクトと共同で南会津GI認定酒のふるまいも行われ、地元のおいしいお酒に多くの来場者が舌鼓を打っていました。

「さいたま市・南会津町南郷地域親善納涼花火大会」では、南郷トマトをモチーフにした尺玉が打ち上げられ、会場に歓声や拍手が響きました。



おいしい地酒で乾杯！

み コミュニティ助成事業（川島区） んなが集いやすい場所へ

川島区では、（一財）自治総合センターが実施する「コミュニティ助成事業」を活用し、エアコンや高齢者に配慮した高座椅子などの備品を整備しました。近年の温暖化で夏季の活動が制限されていましたが、エアコンの整備により環境が改善されました。

9月2日にはふれあいサロンが開催され、充実した活動の場となりました。



高座椅子に座り、プレーを見守る皆さん

コミュニティ助成事業とは

コミュニティ助成事業とは、（一財）自治総合センターが宝くじの社会貢献広報活動として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備等に対して助成を行い、地域活動の発展と住民福祉の向上に寄与するために行っている事業です。例年秋に募集しています。



エアコンで快適な活動が可能に

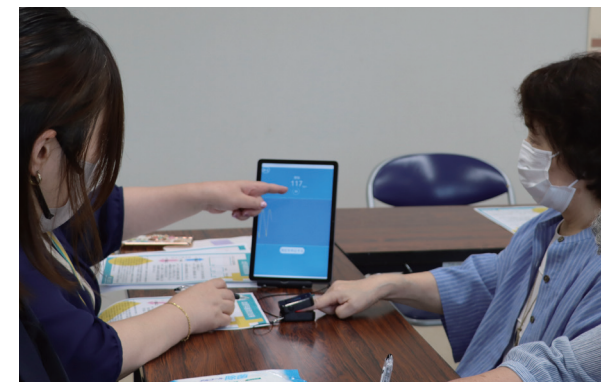
食 食育講習会第2弾を開催 べて学んで、健やかに

9月3日、御蔵入交流館で食育講習会第2弾が開催されました。

南郷トマトを使った抗酸化予防の調理実習や、食生活改善普及運動月間にちなんだ栄養講話が行われました。また、明治安田生命保険相互会社による血管年齢測定も実施され、参加者は日頃の健康管理を見つめ直す機会となりました。



真剣に調理法を聞く参加者の皆さん



血管年齢測定中の様子



明治安田生命保険相互会社の社員から健康管理のアドバイスを受ける参加者

ピ 平野スミコさん100歳を迎える ソクのちゃんちゃんこに身を包み

めでたく100歳を迎えられた平野スミコさん(小立岩)の賀寿贈呈式が、入所されている只見町介護老人保健施設こぶし苑で9月10日に行われました。

長寿の秘訣は、大自然の中で体を動かすこと。若い頃から畑仕事や山菜採りで足腰を鍛え、季節の恵みをいただいていたおかげだと語るスミコさん、これからもお元気にお過ごしください。



お孫さんたちからのプレゼントを手に
撮影に応じるスミコさん㊤



優勝したオール南会津・下郷りんどう
ジュニアソフトボールクラブの皆さん

新 秋季ジュニアソフトボール大会 チーム、元気いっぱい躍動！

9月12日、びわのかげ運動公園ソフトボール場で、小学5年生以下のスポーツ少年団員を対象とした新人大会が開催されました。郡内2チームと「結」協定先の泉崎村から1チームが参加し、3チームによるリーグ戦が行われました。新人チームながら最後まで諦めず、はつらつとしたプレーで会場を沸かせました。

【優勝】オール南会津・下郷りんどうジュニアソフトボールクラブ

【準優勝】只見ベアーズ

【第3位】泉崎ソフトボールスポーツ少年団



おみこしとぎょさい
御神輿渡御祭の様子

豊 古町のまつり開催 年願い、伝統装束で練り歩く

9月12日、13日に古町のまつりが伊南地域で開催されました。12日は廣瀬神社例大祭御神輿渡御祭が古式ゆかしく執り行われ、家内安全や今年の豊作を祈願し古町地区内を練り歩きました。13日には小中学生によるよさこいやイワナつかみ、伊南豊年仮装踊りなどが開催されました。

地域の小中学生をはじめとした多くの方が来場し、活気あふれる2日間となりました。



子ども神輿の様子



謎の高級魚の正体はウナギ！

ソ 町民360歳ソフトボール大会 フトでつなぐ、地区の絆

9月6日、びわのかげ運動公園ソフトボール場で男女混合地区対抗ソフトボール大会が開催され、合計7チームが参加し、熱戦を繰り広げました。高校生からシニアまで世代を越えたチーム編成により、親睦を深める大会となりました。

【優勝】田部

【準優勝】長野

【第3位】本町、中町



優勝した田部の皆さん



田島ちびっ子レスリングクラブ
(ちびっ子の部総合3位)の皆さん

ち 第30回会津たじま少年少女レスリング大会 びっ子レスラーが躍動

9月6日、田島体育館で「第30回会津たじま少年少女レスリング大会」が開催されました。

節目となる30回目の大会には、全国各地から40チーム、総勢292名のちびっ子レスラーが参加。会場には、選手たちの元気な声や応援する家族の熱い声援が響き渡り、熱気に包まれました。

耕 福島県農業賞受賞のアグリサービス荒海(株) 作放棄地解消で地域に貢献

9月8日、アグリサービス荒海株式会社(関本)の皆さんが第67回福島県農業賞(農業経営改善部門)の受賞を町長に報告しました。

同社は、耕作放棄地の解消や水稻栽培における複数品種の作付、^{かん}乾田直播栽培等による作期分散などの創意工夫を凝らし、それによる安定経営と地域貢献が評価され受賞となりました。



受賞報告に訪れたアグリサービス荒海株式会社の皆さん



左から、寄附に訪れた関根健裕さんと渡部町長、
湯田浩和さん

会 だいくらスキー場を未来につなぐ会から寄附 津高原だいくらスキー場を未来につなぐ

9月9日、だいくらスキー場を未来につなぐ会の共同代表の関根健裕さんと湯田浩和さんが町長を訪問し、昨シーズン中の「だいくらビール」や「りんごジュース」などの売上げの一部を寄附されました。

「会津高原だいくらスキー場の発展と未来への継承に役立ててほしい」との強い思いと一緒に町長に手渡されました。